

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26)について

令和8年5月
防衛省

令和8年度米海兵隊との実動訓練 (レゾリュート・ドラゴン26) について

【訓練の目的】

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。
また、一部の訓練では、離島域において日米共同の災害対処訓練を実施します。

【訓練の沿革】

令和3年度に初めて実施し、本年度が6回目

【訓練の実施場所及び期間】

➤ 訓練期間：令和8年6月20日（土）～30日（火）

（本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を実施予定）

➤ 訓練実施場所：大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県及び沖縄県の下記の場所

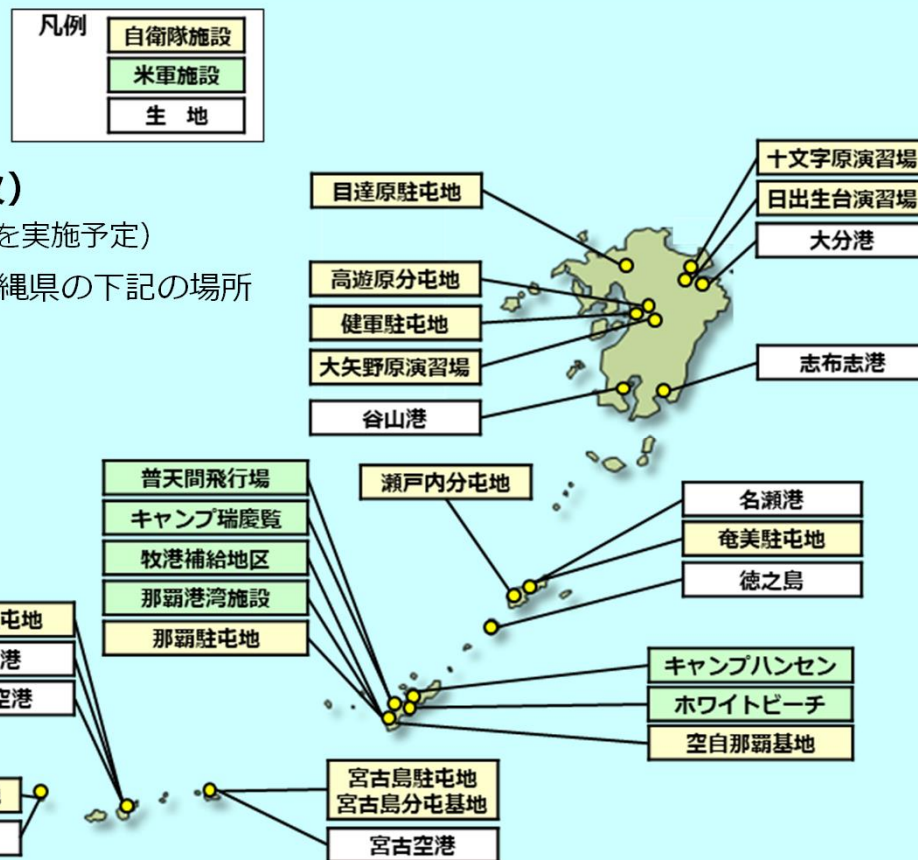
- ・ **大分県**：陸上自衛隊日出生台演習場、
陸上自衛隊十文字原演習場、
大分港

- ・ **佐賀県**：陸上自衛隊目達原駐屯地

- ・ **熊本県**：陸上自衛隊健軍駐屯地、
陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場

- ・ **鹿児島県**：志布志港、谷山港、
陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島

- ・ **沖縄県**：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、石垣空港、石垣港、与那国空港



レゾリュート・ドラゴン26における訓練内容等（基準）

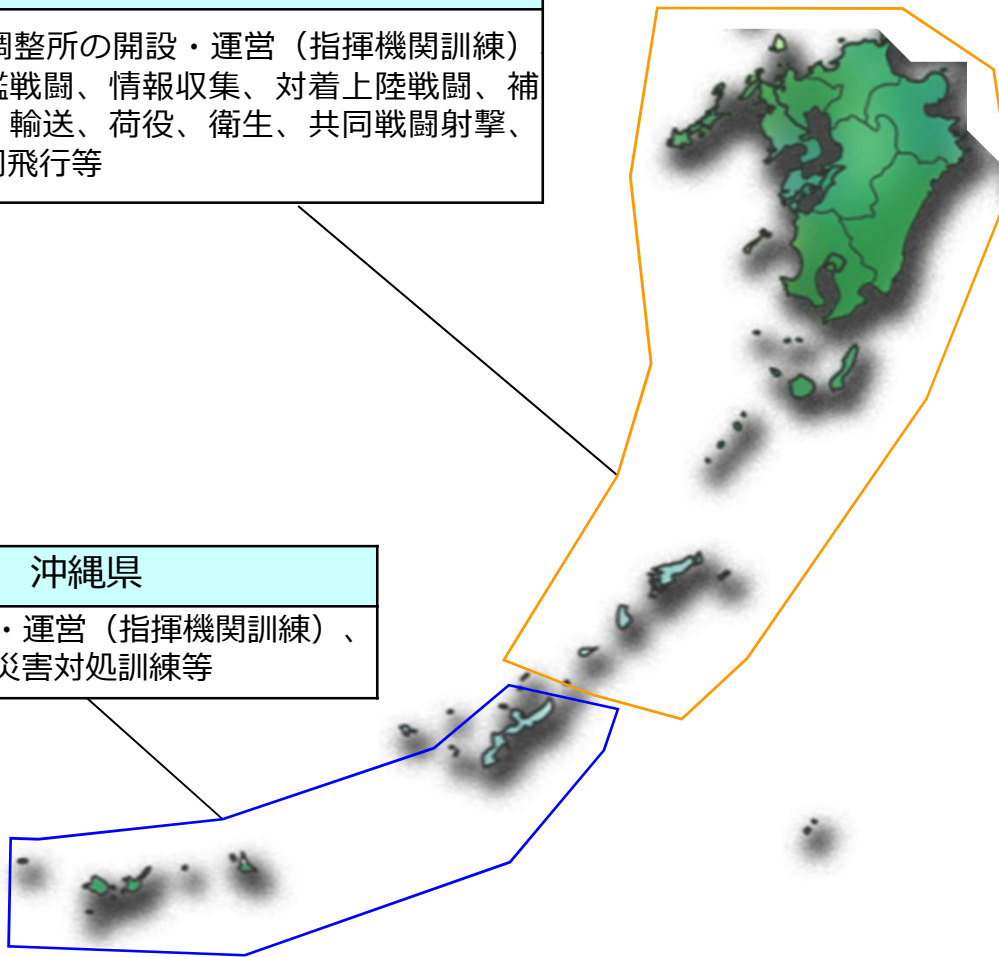
九州

（大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県）

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）
対艦戦闘、情報収集、対着上陸戦闘、補給、輸送、荷役、衛生、共同戦闘射撃、共同飛行等

沖縄県

調整所の開設・運営（指揮機関訓練）、
災害対処訓練等



宮古島の使用について

沖縄県

宮古島においては、日米共同による災害対処訓練として、日米の共同調整所の運営訓練、共同衛生訓練（駐屯地内における患者の治療及び日米航空機による患者後送（宮古空港及び宮古島分屯基地から普天間基地））及び航空機による物資補給・輸送訓練を実施する計画です。

訓練に参加する自衛隊及び米軍の人員や装備品等を自衛隊の航空機により輸送するため、宮古空港の使用を計画しています。

また、日側航空機の離発着のために宮古空港及び宮古島分屯基地の使用を、米側航空機の離発着のために宮古島分屯基地の使用を計画しています。

なお、宮古空港から宮古島駐屯地の車両移動に際しては朝夕の通勤等で交通量が多い時間帯は避け、数回に分ける又は夜間・早朝に実施する等交通への影響が最小限となるよう実施します。

【期 間】 令和8年6月25日（木）～29日（月）

※ 本期間の前後に、それぞれ約3日間程度で展開・撤収を実施予定（慰霊の日（6月23日）を除く。）

【参加部隊等】 自衛隊：陸上自衛隊 約30名（第15旅団、宮古島駐屯地業務隊等、V-22×1機、CH-47×1機程度、C-130H×1機（支援）等）

米 軍：米海兵隊 約40名（第3衛生大隊等、CH-53×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



日米共同調整所の運営



陸自V-22による患者後送等



日米共同衛生訓練



米CH-53による患者後送等